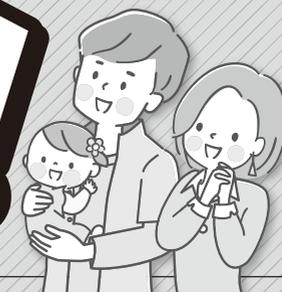


6月県議会開会

県民の声を届け

「県民が主人公」の県政へ!



県民の「地域医療守れ」

「原発再稼働ストップ」等の思いを受け論戦へ

村井県政は県民の「地域医療守れ」の願いに背を向けて、4病院再編計画を推し進めています。党県議団は4月に日本赤十字社本社および労働者健康安全機構本部を訪ね、県民の声を直接、届けると同時に現時点の病院再編についての協議内容と認識について聞き取りを行いました。具体的な医療内容や職員の雇用継続について県との協議はこれからで、まだ何も決まっていない状況です。県と仙台市との協議も緒に就いたばかりで、無理やり再編を進める道理はありません。

また、5月には能登半島地震で甚大な被害を受けた現地で、要望聞き取りと調査を実施。地震から5か月が経過してもなお、倒壊家屋や火災で焼け落ちた瓦礫がそのまま放置され、水道も使えないなど復旧の深刻な遅れがあります。志賀原発が立地する志賀町では海面隆起や土砂崩れで孤立集落が発生するなど避難計画が役に立たなかったことがわかりました。能登半島地震が突き付けた冷厳な現状をみれば、半島部に立地する女川原発が万が一の際、住民避難がなくなる危険は明白です。「女川原発再稼働ストップ!」県民の皆さんとご一緒に命を守る議会論戦にとりくみます。

〈一般質問〉



天下みゆき

6月20日(木) 午後1時すぎ

- 1、患者さんから医療を奪う「4病院再編」ストップ
- 2、「宿泊税」導入は断念せよ
- 3、女川原発再稼働の中止を求める
  - (1) 志賀原発、断水と道路寸断、家屋倒壊で避難計画は「絵に描いた餅」
  - (2) 女川を「核のゴミ捨て場」にするな

〈一般質問〉



藤原 益栄

6月25日(火) 午前10時から

- 1、文化財行政について
  - (1) 多賀城跡大路の旧県道部分の整備を
  - (2) 旧海軍松島地下工廠を県として調査を
- 2、県営住宅からの県撤退方針は転換を
- 3、能登半島地震の復旧の現状と課題について
- 4、宮城型管理運営方式(水道事業)の問題点について

〈最終日討論・予定〉



三浦 一敏

7月1日(月) 午後1時すぎ

6月議会の日程(予定)

6月13日(木)	開会・本会議
14日(金)～19日(水)	休会日
20日(木)～26日(水)	一般質問(土日月は休会)
27日(木)・28日(金)	常任委員会
7月1日(月)	本会議・閉会

皆さんの傍聴が質問者の力になります  
ぜひ議会傍聴においでください

インターネットでも傍聴できます  
<https://miyagi-pref.stream.jfit.co.jp/>

日本共産党 県議団ニュース

2024年6月 号外  
 発行：日本共産党宮城県議会議員団  
 (控 室) TEL 022(211)3523  
 FAX 022(268)6093  
 E-mai : info@jcpmk.jp



5月 能登半島地震被害調査・視察



4月 日本赤十字社本社・労働者健康安全機構本部訪問・ヒヤリング